



昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科

アーキビスト課程



ヨーロッパでアーカイブズを学ぶ



アーカイブズ学を
基礎から学べる



昭和女子大学認定
アーキビスト(2級)
取得



MLAに関わる
資格も併せて
取得可能



実物の資料を
使った実習

アーキビスト課程で学べること

- ・アーカイブズ学の基礎
- ・歴史学・考古学・民俗学・美術史など
さまざまな学問とアーカイブズとの関わり
- ・日本や世界のアーカイブズについて
- ・古文書や歴史資料の読解
- ・実物の江戸・明治期のアーカイブズ資料を用いた実習
- ・データベース・目録・デジタルアーカイブの作成方法
- ・学芸員・図書館司書など多くの関連資格の
取得が可能



歴史文化学科 **アーキ**

全国の女子大学で初めて、『アーキビスト』

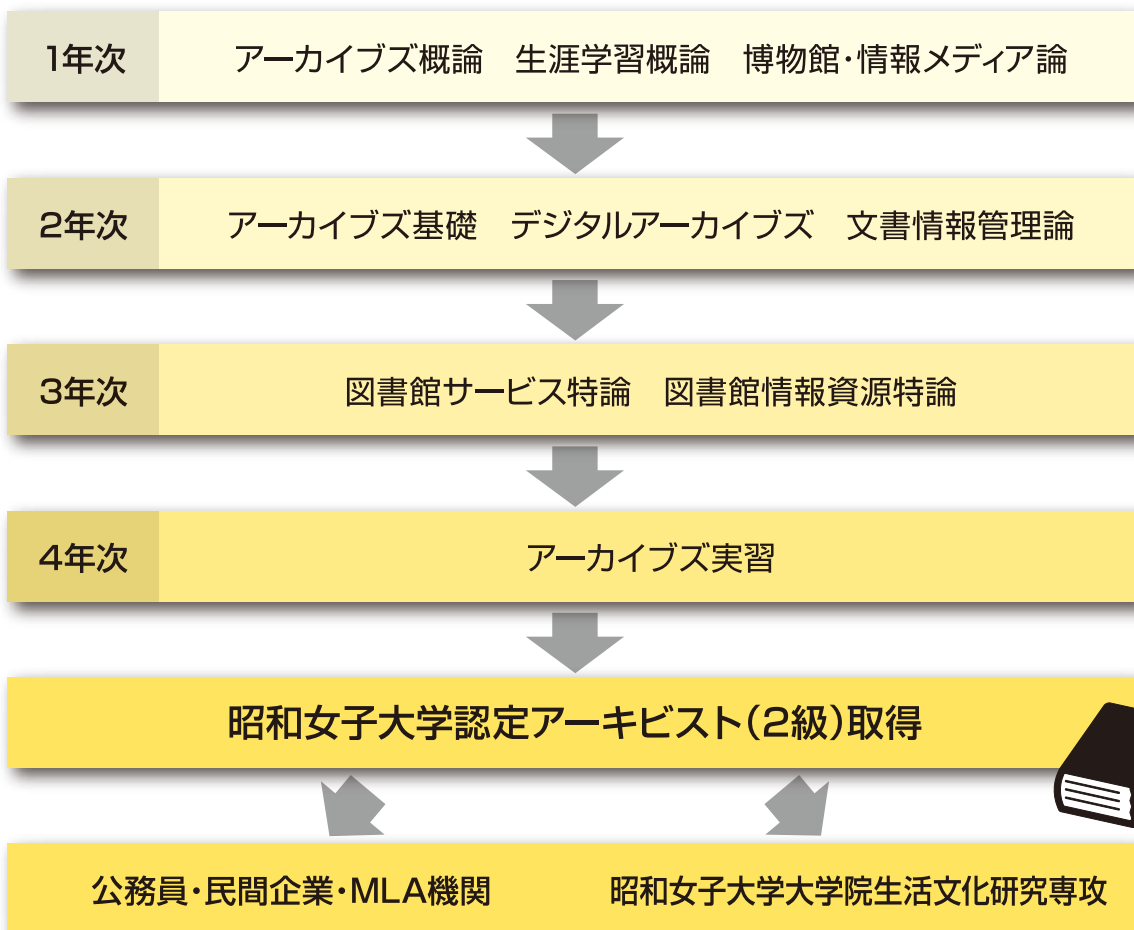
1

アーキビストとは **記録を残し、伝える仕事**

アーキビストとは、公的機関をはじめ、民間企業などさまざまな組織や集団が作成した公文書や文書記録について、収集・整理・分類・管理・保存すべきかどうか評価・選別を行い、残すべき資料の公開や活用までを担う専門職です。これまで専門資格がありませんでしたが、2021年1月から、国立公文書館が「認証アーキビスト」を認定する制度を開始しました。アーキビストは国立公文書館をはじめ、全国の自治体が設置している公文書館や歴史資料館、博物館、図書館、さらに公務員や民間企業での活躍が期待されます。



● 「昭和女子大学認定アーキビスト(2級)」取得までのイメージ



ビスト課程

について本格的に学べる課程。



2 アーキビスト課程の特長

- 1 昭和女子大学アーキビスト課程は、女子大学の学部では日本ではじめての、アーカイブズ学をしっかりと学べる課程です。基礎から実習まで、多様な科目群でアーカイブズについて学べます。
- 2 アーキビスト課程の単位を取得することで、昭和女子大学認定アーキビスト(2級)の資格を取得することができます。
- 3 日本史・東洋史・世界史をはじめ、考古学・民俗学・美術史・芸能史・文化財科学など、アーキビストの仕事に関わるさまざまな学問分野を学ぶことができます。
- 4 ヨーロッパ歴史文化演習Bではイタリアなどの文書館で専門家の講義を受けることができます(隔年)。
- 5 アーカイブズ実習では、実物の江戸・明治期のアーカイブズ資料を用いて実習を行い、資料整理・目録作成・デジタル化・webでの公開を行います。
- 6 学芸員・図書館司書など多くの関連資格の取得が可能です。
- 7 大学院(生活機構研究科生活文化研究専攻)に進学し、所定の科目を履修すると、昭和女子大学認定アーキビスト(1級)を取得できます。さらに、国立公文書館に申請の上、准認証アーキビストに認定されます。

3 MLAに関わるさまざまな資格を取得できます

地域に遺された文化遺産を守り伝えていくためには、公文書館 (Archives) に加えて、図書館 (Library)、博物館 (Museum) の連携が重要です。このことを担う専門職が、学芸員・図書館司書、そしてアーキビストです。歴史文化学科では、アーキビストに加えて、学芸員、司書、さらに関連するさまざまな資格の取得が可能です。これらの資格を合わせて取得することで、MLA 連携に関わるキャリアが期待できます。

【取得できる資格】

歴史文化学科では下記の資格を取得することができます。

学芸員／考古調査士(2級)／高等学校教諭一種(地理・歴史、公民)／中学校教諭一種(社会)／図書館司書・司書教諭／文書情報管理士(2級)／昭和女子大学認定アーキビスト(2級)／日本語教員(大学認定証)／社会福祉主事(任用資格※)

※任用資格とは公務員に採用された後、特定の業務に任用されるのに必要な資格です。





美術史研究とアーカイブズ

「浮世絵とイレズミ」をテーマとした卒論の研究調査を通じて、医学標本のアーカイブズに興味を持ちました。浮世絵に描かれたイレズミと人体に施されたイレズミの図様比較を行う際に医学部標本室に訪れ、目の当たりにした標本に関わる資料の破棄。大いに貴重であるイレズミ標本であるため、とても悲しい気持ちになったことを覚えています。美術と全く異なる分野であると思われるかもしれませんが、美術を学ぶ立場でこれらの医学標本に何ができるのかをアーカイブズを学んでいく中で考え、行動していきたいです。

(生活文化研究専攻修士1年 鍋木栞)

ヨーロッパで体験したアーカイブズ

国立ヴェネツィア文書館を訪れて一番驚いたのは収蔵されている文書の多さです。渡航前の事前講義や大学で受けた「西洋文化史」の講義内において、書庫の内部を写真で見えていましたが、総距離80km・文書の数60万点以上にも及び書庫は実際に行ってみないとわからないほどの迫力がありました。イタリア共和国内での生活の様子や周辺諸国の当時の様子、また、ヴェネツィア内の水路や運河についてなど多岐にわたって記載されている文書たちを前に、この場所ではこの国に関することであればなんでも知ることが出来るのではないかとさえ思えました。現在ゼミでアーカイブズに関することを学んでいる中、現代の人間が過去の記録を細かく知る事ができる場所を訪れることによって、いまにアーカイブズを残すことの重要性を知ることができました。

(歴史文化学科3年 門口 さくら)



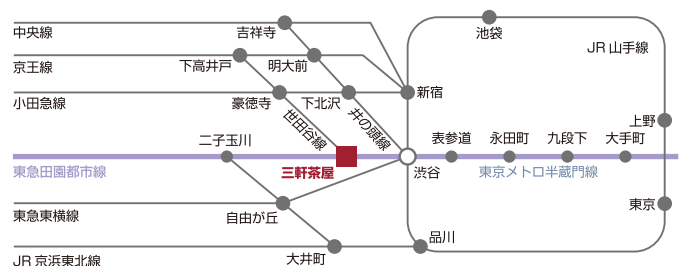
実物資料を用いた実習

アーキビスト課程では、実際に江戸～明治時代の人々・集団が遺した古文書や行政文書を用いて実習を行います。実習では、資料の現状記録から、番号付与、封筒詰め、保存措置を行ったうえで、一点一点の資料情報を取得して目録を作成します。さらに、デジタル化を行ったうえで、webで公開(データベースの構築)まで取り組みます。この体験を通じて、アーキビストに求められる知識や技能を実践的に学ぶことができます。



● **交通アクセス** 所在地: 東京都世田谷区太子堂1-7-57

東急田園都市線◎三軒茶屋駅(渋谷から3分)下車徒歩7分



お問い合わせ

昭和女子大学

人間文化学部歴史文化学科

Email: rekibun@swu.ac.jp(野口・湯上・三野)

[入試に関するお問い合わせ: アドミッションセンター]

0120-5171-86

TEL: 03-3411-5154 Email: spass@swu.ac.jp

必ず「2025年度 昭和女子大学入試要項」とあわせてご覧ください。